

茨城県内の女性農業者紹介

県北

県央

鹿行

県南

県西



みうら あやか
三浦 綾佳さん

- ◆お住まい：水戸市
- ◆栽培品目：フルーツトマト
- ◆農業を始めた年：2015年
- ◆経営概要
株式会社ドロップファーム
- ◆加工製造販売
トマトジュース・トマトコンフィチュール他
- ◆販売概要
直売所・百貨店・スーパー・ネット販売等

農業をはじめたきっかけは？

自身の出産を機に、仕事も子育てもあきらめない働き方、これまでのキャリアを生かしたビジネスとして、「生産」と「販売」のどちらも重視した農業の形を目指し、起業しました。私と同じように「働き方」で悩んでいる方の選択肢に「農業」が入れば良いかと、子育て世代の新たな働き方として、一つのモデルケースを作りたいとも思っていました。

農業で工夫していることはありますか？

農業の難しい点は、「工業製品ではない」ので、天候等の様々な条件に品質も収穫量も左右されてしまうことです。それを生活者の皆様にも情報としてしっかり伝えることを意識しています。同じ品種でも季節によって味が変わることもあります。それを楽しめる生活者の方を増やしていきたいと、スタッフ全員がまず、当農場のトマトのファンであり、一番の理解者であるための努力をしています。

今後の目標や展望を教えてください。

現在は農場の規模を拡大しより多くのお客様にフルーツトマトの魅力を届けるために準備しているところです。また、異常気象が当たり前になってきた近年に対応できる品種への切り替えにも挑戦しながら、お客様満足度を崩さずながら、農場を継続し続ける事が今の目標です。

農業以外で趣味の活動など取り組んでいること、または取り組みたいことはありますか？

最近では、教育分野での講話や農場の視察受入が増えてきています。高齢化などネガティブな情報が多い農業界ですが、子供たちは農業に対して前向きな子も多く、将来がとても楽しみです。将来の農業従事者を増やすためにも、まずは私たちがモデルケースとなり、道を作って行かなければならないと使命感も感じています。

新たに農業を始める人へアドバイスをお願いします。

農業はとてもクリエイティブな職業です。私は全く農業とは縁のない人生から新規就農をしましたが、「農業だから」という固定概念を捨てて農場運営に取り組むことでどんどん新しいアイデアが生まれて、それを形にすることができます。

資源が手元にある一次産業の魅力を楽しんで欲しいと思います。

drop farm®